



# Team石川



小中一貫CSだより第47号

令和2年2月25日発行

文責(松)

15歳の姿：将来への憧れ・夢・希望・目標をもち、意欲的に学習に取り組み自分の考えや思いを豊かに表現できる子ども

## 第41回石川地区公民館文化祭で子ども達が活躍

2月8日(土)・9日(日)の2日間、地域コミュニティの拠点である市立石川公民館の文化祭に大勢の子ども達が訪れ、楽しい一時を過ごしました。また、司会進行や意見発表・音楽発表・展示発表などでお祭りを盛り上げ地域に貢献しました。



小学校5年生が作った米による三世代交流もちつき体験。総合的な学習の時間での米作り・稲刈り体験が結実しました。



子どもの想い意見発表会・・・小学校5年生・齋藤麗さん「弘前市内自主見学」、小学校6年生・工藤恒我くん「一つの大きな壁」



中学校1年生・石田雷夢くん「他にはない石川のいいところ」、2年生・石川葵さん「自分ストーリー」

西暦が偶数年の年は小学校長が講評を担当します。今年の発表も自分の考えや思いを豊かに表現したものとなりました。

### 他にはない石川のいいところ 石田雷夢

僕は、去年の春、石川に引っ越してきました。そして、最初に思ったことが、石川の皆さんが優しいということです。元々住んでいたのは同じ弘前市でしたが、そこでは近所付き合いなどあまりありませんでした。石川では近所の方々がとても優しく、うれしい気分になりました。石川ではボランティア活動が盛んです。だから、近所の方々と交流を深めることができ、素晴らしいと思いました。僕は少し人見知りな所もあって、あまり参加できませんでしたが、次からは参加したいと思います。以前住んでいた所では、近所付き合いは「こんにちは」と挨拶を交わすだけでしたが、石川の方は「こんにちは、気をつけてね」「お帰り」など、家族のように声がけしてくれるので、とても親近感が湧いてきました。また、病院やコンビニの方々が優しく話しかけてくれます。コンビニでお会計をしている時、店員さんが「おはよう」などと一声かけてくれます。僕は人見知りなので、少し恥ずかしがってしまいますが、それでも店員さんは、毎回一声かけてくれます。僕はコミュニケーション能力は低いです。でも、いつも話しかけてくれるので、コミュニケーション能力が上がり、普通に店員さんと会話を交わせるようになりました。

次に大仏公園についてです。歴史のある公園を石川の皆さんで大事にしている所に感心しました。大仏公園の紫陽花は、とてもきれいで、あんなにきれいな花をみたのは初めてです。紫陽花も地域の皆さんが協力して育てている花です。大仏公園の頂上からの景色は絶景です。9月頃初めて頂上に登りました。着いた瞬間、きれいな緑が広がっていました。目が飛び出そうな程、感激しました。秋になると、所々木が黄色になります。その景色も色鮮やかできれいです。よく自転車で大仏公園に行きますが、お年寄りの方がよく歩いているのを見かけます。石川はとても健康な町だと思います。僕にとって石川のいいところは、近所付き合いがあったり、皆さんが協力して、大仏公園を管理しているところであったり、大仏公園の頂上から見える緑豊かな風景だったり、皆さんが健康なところであったり、町中にあふれる優しさ、思いやりがあるところだと思います。(一部要約)

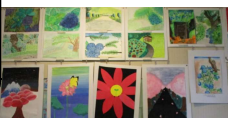
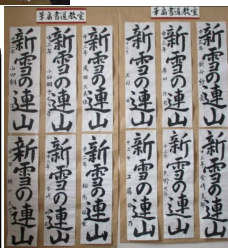


「弘前大学生と遊ぼう」というコーナーではカルタが行われ教頭先生(中)も参加しました。



司会を務めた生徒会メンバーが楽しく昼食。

書道作品・絵画作品の展示も充実しました。



石川の皆さんの健康を願い保健委員会(中)で健康新聞を作りました。



音楽部は「グランドエスケープ」「愛にできることはまだあるかい」という曲を演奏し大きな拍手をいただきました。



## 乗り入れ授業・社会・鳴海教諭の感想(2/10・12・13)

一時間目は、「世界の気候を、雨温図を使って比べてみよう。」という学習課題で授業を行いました。授業の始まりはビデオ操作でモタモタしましたが、毎回温かい挨拶で歓迎を受けました。二時間目は、「気候や植生に注目して、熱帯と乾燥帯の特色を考えよう。」三時間目は、「気候や植生に注目して、温帯と冷帯・寒帯の特色を考えよう。」という学習課題で行いました。ビデオ(NHK高校講座 地理)を見ながら、発問に対して個人や小集団で考え、発問に対して考えた内容を、全員が何かしらの発表をする形式で行いました。自分の考えの根拠を示して、因果関係を説明したり、植生を分析して発表につなげたり、また、人々の生活の様子にも触れたりと高度な発表内容もありました。4人あるいは3人の小集団の中で、司会者や発表者などの役割を、毎時間ローテーションで行いましたが、活動もスムーズに行われ、全員が適切な言葉で発表できていました。一番は真剣な表情で授業に取り組む姿勢が素晴らしかったことでした。(鳴海)



## JUMPチーム感謝状を小・中学校でいただきました

2月18日(火)、石川小学校リトルJUMPチームと石川中学校JUMPチームが弘前警察署より感謝状をいただきました。「JUMP」とは、「Juvenile(=少年)」「Misconduct(=非行)」「Prevention(=防止)」の頭文字から引用した愛称で、JUMPチームは少年非行防止を目的とする活動をしています。石川小・中学校では合同で万引き防止マスコット(マンボーくん、マービーちゃん)の作製、交通安全キャンペーン、あいさつ運動などの活動を行いました。また、中学校単独では、ネットトラブル防止活動として、「ネット使用上の7ヶ条」の制定やネットトラブル防止の合い言葉(ぼんだのさくら)を作成するなどの活動を行いました。この度は、以上の積極的な活動や小中が連携した活動が評価され、感謝状をいただくことになりました。どうもありがとうございました。



小学校のリトルJUMPチーム



### 非行防止 地域に貢献

石川小中 JUMPに感謝状

弘前署

弘前警察署(青山孝 両チームは連携して 浩署長)は18日、少年 万引き防止マスコット 非行防止に貢献したと を作って市内の各店舗 して、2019年度弘 前地区JUMPチーム さサンプエスタいし 感謝状を、石川小学 校リトルJUMPチーム ンに取り組みなど、 と石川中学校JUMP チームに贈った。

鎌田生活安全官(右) から感謝状を受け取る 石川中学校JUMPチ ームのメンバーたち

弘前署で贈呈式が行われ、同署の鎌田一仁生活安全官が感謝状、弘前地区少年警察ホラシニア連絡会の對馬健一会長が記念品を贈呈、同小6年の齋藤慎之介君は「これからも地域のためにボランティア活動を続けたい」、同中2年の村元愛梨さんは「皆さんに安全に過ごしてもらえよう」とこつこつと活動した



万引き防止マスコット作り (2019年夏)

小中学生JUMPチームで 記念撮影



「い」とそれぞれ述べ、ムと裾野中学校JUMP今年度は、裾野小学 贈られた。 Pチームにも感謝状が (川上弘介)

